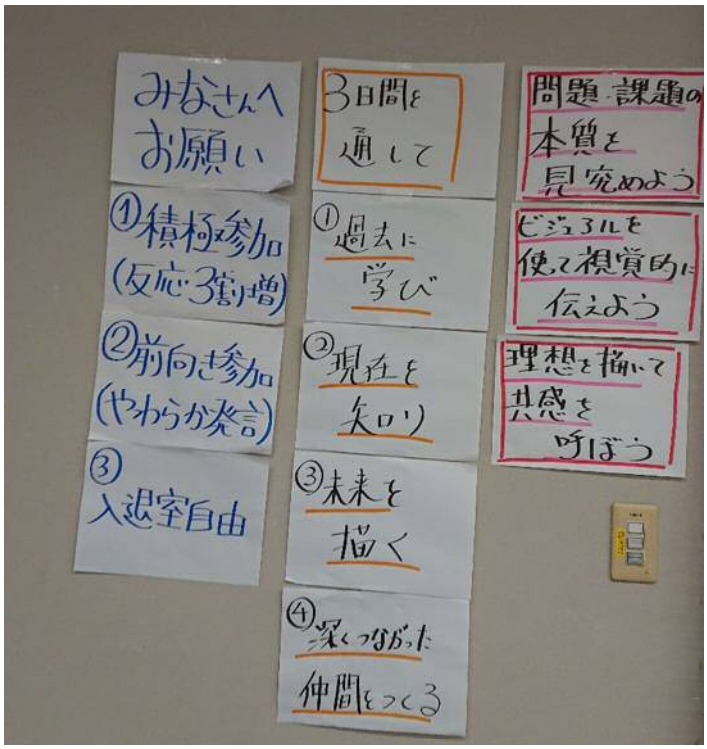
【3日目】 発表会



【3日間を通してのテーマ】
①過去に学び
②現在を知り
③未来を描く
④深くつながった仲間をつくる

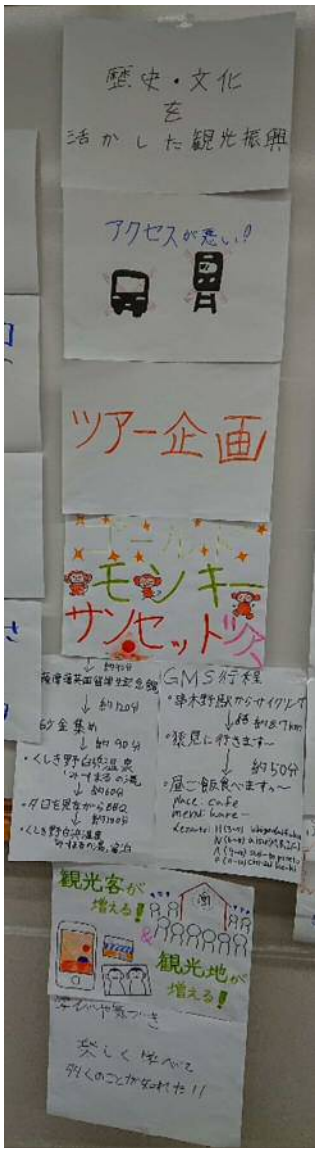
【目標】
①問題・課題の本質を見極めよう
②ビジュアルを使って視覚的に伝えよう
③理想を描いて共感を呼ぼう

【プレゼンテーションのルール】

1　プレゼンテーションは各チーム2分間
2　A4用紙5枚で表現
　内容は
　①選んだテーマ
　②テーマが抱える課題
　③根本的な原因とその解決策
　④理想の未来
　⑤議論して感じた学びや気づき
　の5点
3　言葉だけではなくイラストを使って説明する
4　発表は必ず全員に出番を持たせて行うこと

【3日目】プレゼンテーション　A班

【歴史・文化を活かした観光振興】

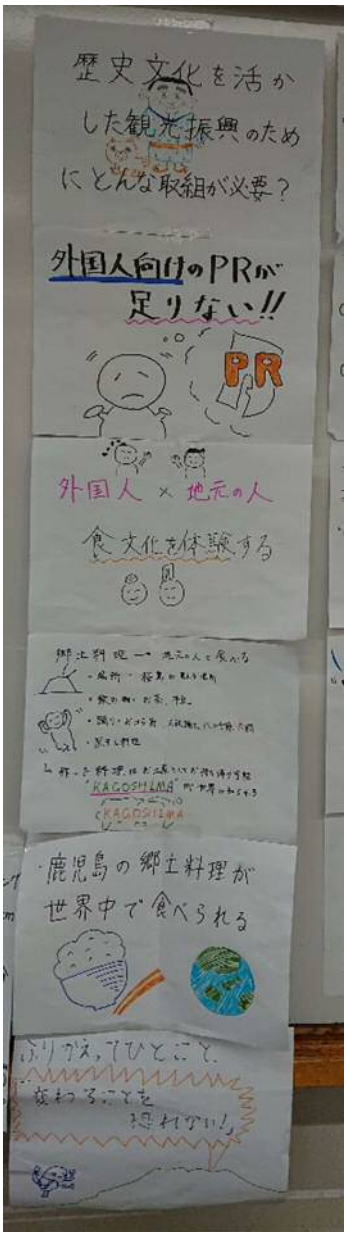


A班のテーマ
歴史・文化を活かした観光振興のためにどんな取組が必要？

羽島で取組事例を伺った枇榔秋信会長のお話をもとに，いちき串木野市での具体的な観光ツアーを企画。
駅から自転車を利用してサイクリングで観光を楽しむ企画もプランニング。

【3日目】プレゼンテーション　B班

【歴史・文化を活かした観光振興】

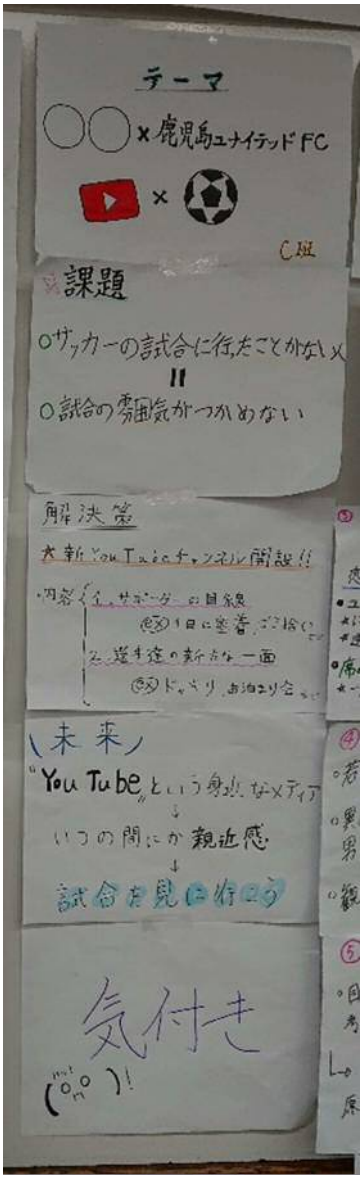


B班のテーマ
歴史・文化を活かした観光振興のためにどんな取組が必要？

外国人向けのPRを強化するための取組を企画。
外国人観光客と地元の住民が一緒に郷土料理を作り，作った料理をお土産として持ち帰る体験型のプランを提案。
料理だけでなく，おはら節や六調など，伝統文化（踊り）も体験。

【3日目】プレゼンテーション　C班

【スポーツを活かした地域活性化】

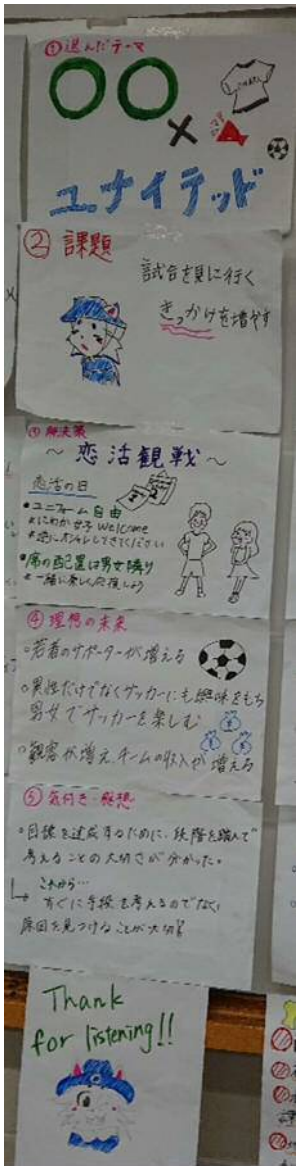


C班のテーマ
〇〇×鹿児島ユナイテッドFC
若者が行きたくなる企画を！

サッカーの試合を見に行ったことがない人は，試合の雰囲気が掴めないため，試合に足を運ぶまでのハードルが高いことが課題。
その課題を解決するために，若者に身近なメディアツールを活用し，サポーターの1日に密着，選手の新たな一面を紹介するなどの新たなYouTubeチャンネルを開設し，親近感を持たせ，試合を見に行くことにつなげるという企画を提案。

【3日目】プレゼンテーション　D班

【スポーツを活かした地域活性化】



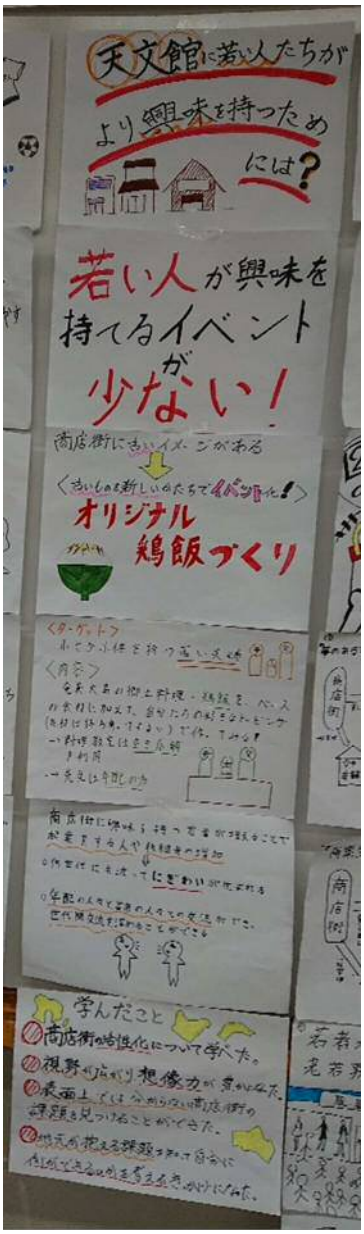
第２位

D班のテーマ
〇〇×鹿児島ユナイテッドFC
若者が行きたくなる企画を！

試合を見に行くきっかけを増やすため，“恋活観戦”を提案。
恋活観戦の日を設定し，その日は席を男女が隣になるように配置し，各自おしゃれをして参加するルールを設定。
男女でサッカーを楽しみ，サッカーにも興味を持ってもらい，若者のサポーターを増やそうという企画を提案。

【3日目】プレゼンテーション　E班

【地域経済・産業の活性化】

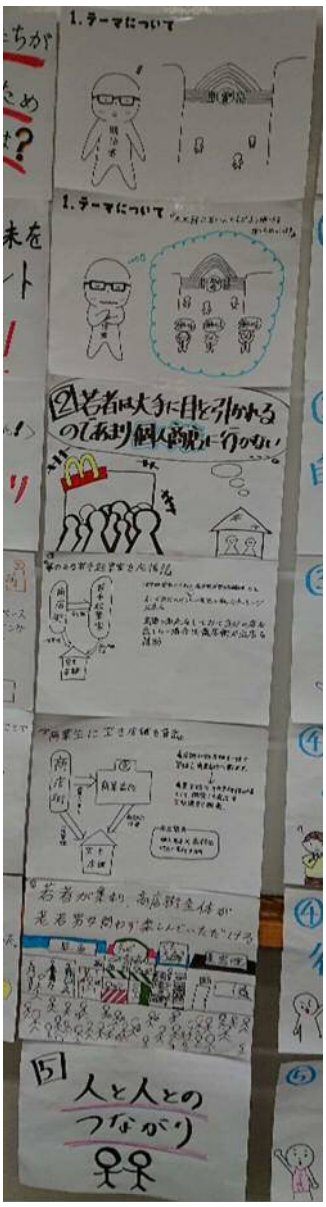


E班のテーマ
天文館に若い人たちがより興味を持つためには？

若い人が興味を持てるイベントを企画し，にぎわいを創出しようという提案。
商店街に古いイメージがあるため，古いものを新しい形で活用したイベントとして，小さな子どもを持つ若い夫婦をターゲットにしたオリジナル鶏飯づくりを企画。
年配の方を講師として迎え，空き店舗を利用した料理教室を開催。
世代間交流を進め，にぎわいを創出することで，商店街に興味を持つ若者も増えるという好循環を生み出す。

【3日目】プレゼンテーション　F班

【地域経済・産業の活性化】



F班のテーマ
天文館に若い人たちがより興味を持つためには？

商店街が空き店舗を管理し，商業高校生に貸し出し，地元の素材などを活用して開発した商品を生徒自ら販売するという，夢のある若手起業家を応援する企画を提案。
若者が集まることで，商店街全体が幅広い世代でにぎわい，人と人とのつながりが広がるという企画。

【3日目】プレゼンテーション　G班

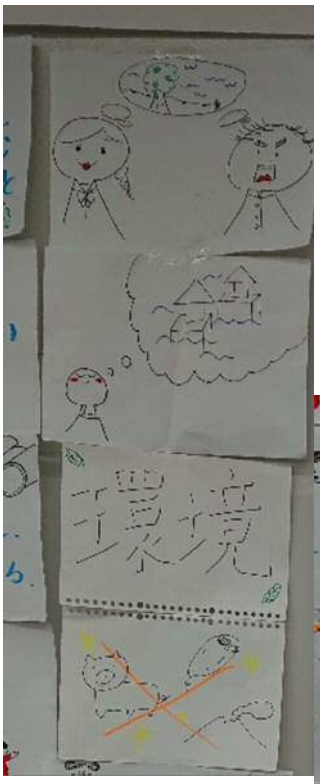
【環境・自然・教育の未来】

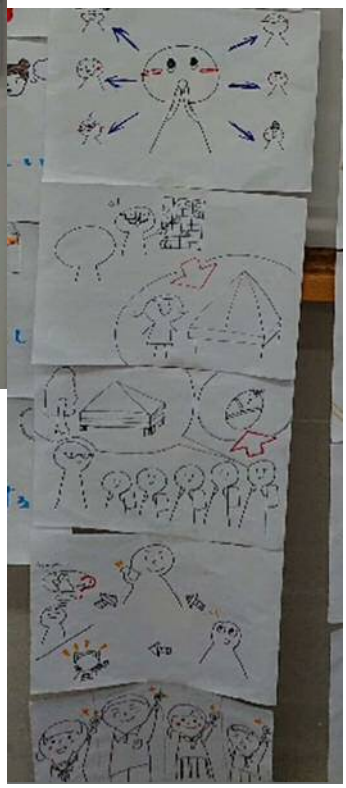
G班のテーマ
若い世代が環境問題を主体的に考えて取り組むために必要なことは？

環境問題というと，スケールが大きすぎて，自分には関係ないものと，興味を持たない若者が多いことが課題。
まずは一歩を踏み出し，ゴミ拾いやゴミの分別など，無理のない範囲で，自らが経験し，身近な人を誘い，少しずつ輪を広げることで，意識も変わり，持続的な活動が可能になるという提案。

【3日目】プレゼンテーション　H班

【環境・自然・教育の未来】





第３位

H班のテーマ
若い世代が環境問題を主体的に考えて取り組むために必要なことは？

自分の身の回りの環境，自分の行動が与える影響を知らない，興味がない，ということが課題。
まずは，自分が今すべきことは何かということを考え，たとえ一人でも，自らが変われば，周りの人がその変化に気づき，自身を変えようと動くので，「自らが変わる」ことが大事。
興味を持つきっかけとして，出前事業や宿泊学習などを通して環境問題を身近に学ぶ機会を設けるという提案。

【3日目】プレゼンテーション　I班

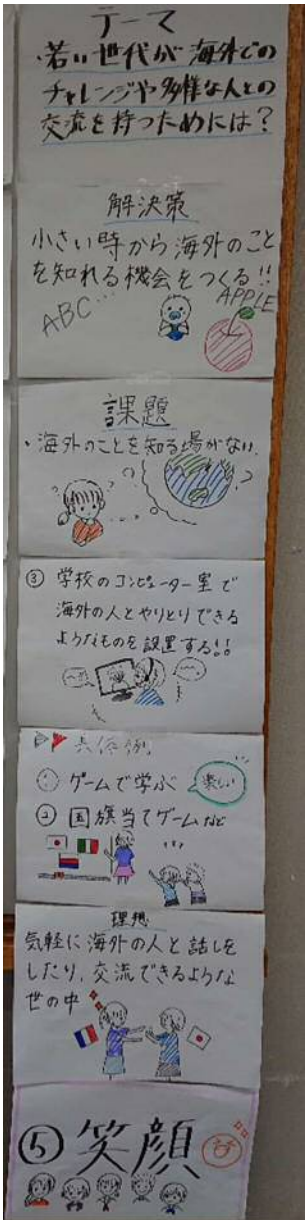
【国際化・多文化共生の未来】

I班のテーマ
若い世代が海外でのチャレンジや多様な人との交流を持つためには？

異文化理解が正しくできていないことが課題。
様々な情報が行き交っており，正しい情報を得られていない。
情報リテラシーを高め，正しい情報を得て，正しい情報を発信することで，誰もが笑顔になれる多文化共生を進めていこうという提案。

【3日目】プレゼンテーション　J班

【国際化・多文化共生の未来】



第１位

J班のテーマ
若い世代が海外でのチャレンジや多様な人との交流を持つためには？

海外のことについて，知る場があまりないといことが課題。小さい頃から海外のことを知ることのできる機会をつくるため，学校のコンピューター室で海外の人とやりとりができ，ゲームなどを通してコミュニケーションをはかり，気軽に海外の人と交流できるような環境をつくろうという提案。

【3日目】発表会（審査）

審査員　①鹿児島ユナイテッドFC　徳重剛代表　②かごしま探検の会　東川隆太郎代表理事
③いづろ商店街振興組合　有馬明治青年会長　④くすの木自然館　浜本麦専務理事
⑤鹿児島ユナイテッドFCオフィシャルカフェ　田仲正明店長
⑥鹿児島県かごしまPR課　向窪憲和課長

審査方法　各チームのプレゼンテーション後，各審査員が10点満点，6名の計60点で採点

各審査員が10点満点で採点

審査後には，審査員から講評をいただいた

結果発表に盛り上がる参加者たち

【３日目】リフレクションワークショップ

３日間を振り返り，チームメンバーへメッセージを伝えるとともに，この３日間の学びをどのように活かしていきたいかチームで共有

各チームのプレゼン資料を掲示

３日間の学びをどのように活かしていきたいか
参加者の前で宣言

全プログラムを終えての集合写真